

働き手の時間を制約す

るのは育児だけではな
い。介護が必要な家族を
持つ人も急増が予想され
る。(1面参照)

「仕事とどう両立すれ
ば」。兵庫県宝塚市のN

働きかた

Next

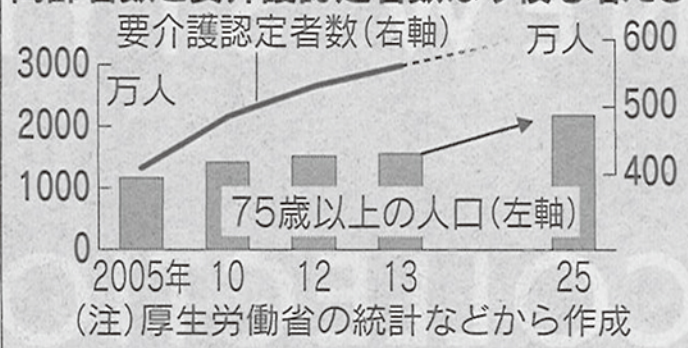
PO法人、スマイルウェ
イが運営する「ほっこり
庵」には親や妻を介護す
る男性が訪れ、悩みを打
ち明ける。同法人の西山
良孝代表は「男性の方が
SOSを出しにくい」と

介護離職クライシス

警鐘を鳴らす。

厚生労働省の調査によ
ると、2013年の介護
離職者は前年比4割増の
9万3000人。5年で
2倍に膨らんだ。介護離
職をどう防ぐかが、企業

高齢者数と要介護認定者数は今後も増える



仕事と両立、知恵寄せ合う

の難題になりつつある。

松江市の長岡塗装店に
勤める事務職の景山玲子
さん(47)は夫が24時間
介護の必要な難病を患
う。入院と1カ月おきの
在宅介護の期間は早退が
多く、仕事は副担当に力

多く、仕事は副担当に力
バーしてもらっている。

同社は副担当を常に置
き、社員が職場を離れる
のに備えている。「誰が
休んでも業務に支障はな
い」と古志野純子常務。
社員は26人。1人でも欠
けると痛手だが、この20
年、女性の離職はない。

ブラザー工業は介護休
業から復帰した社員の体

験談を社内のイントラネ
ットに掲載。現在は20代

から50代の男女4人を紹
介している。「介護と仕
事を両立するモデルを社
員に示したい」(同社)
考えだ。

約1560万人いる75
歳以上は25年には200

0万人超に膨らむ。親の
介護に直面した働き盛り
の大量離職も現実味を帯
びる。子育てをしながら
NHKで働き、のちに厚
労相を務めた小宮山洋子
さんは「働き手に制約が
あることを前提に、働き

方を考え直す必要があ
る」と指摘する。